

## 平成24年度第3回国立市立学校給食センター運営審議会記録（要旨）

日 時	平成24年11月29日（木）午後2時00分から午後3時40分
場 所	国立市立学校第一給食センター会議室
出席委員	17名
欠席委員	1名
傍 聴	0名
事務局	6名（村山所長、久下主任、山本、久保、横山、岩田各栄養士）
議 題	①審議会記録の確認について ②事業報告について ③学校給食用物資納入基準の改正について ④視察について ⑤その他

### 1. 開会挨拶（藏重会長）

本日はご多用の中をご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

これより平成24年度第3回国立市立学校給食センター運営審議会を開始します。

### 2. 審議会記録の確認について

事前に送付した第2回の審議会記録について、特に委員から追加や修正等の意見がなかったため、改めて意見を伺ったところ特に意見もなく送付したとおりで了解された。

### 3. 事業報告について

事務局から資料に基づき、前回の審議会以降本日までの給食センターにおける主な事業と放射性物質に関する対応を報告した。

### 4. 学校給食用物資納入基準の改正について

事務局から資料に基づき、学校給食用物資納入基準の改正について改正の背景、主な改正内容及び現行基準と改正案基準との食材数の相違を中心に説明を行った。

【主な意見等】

（錯誤指摘等）

- ・ 5頁と6頁において魚介類の冷凍魚介類一般事項が重複して2箇所生じている。  
→重複しているので1箇所を削除修正する。
- ・ 牛肉は使用していないと聞いているが、本基準においてどの項目に該当するのか。

→牛肉は、狂牛病の発生を契機に使用していないという経過がある。本基準の中には牛肉の不使用の旨の規定はなく、使用する食材の基準として整理している。

6頁の肉類の品名に牛肉の表記があるが。

→牛肉の削除が未了であったので削除修正する。

(産地の取扱に関して)

- ・1頁の全体共通事項4に基本的に国内産原料、国内生産のものとする。実態としては産地を把握していると思うが、本基準において産地が確認できるものを納入するというような規定を明文化する必要はないか。

→本基準では産地までの指定は行わず、明文化する考えもない。物資の予定産地は学校給食用物資納入登録業者選定委員会における見積り合わせの結果をもって把握できるので、その後産地の状況等を確認しているという実態である。

- ・国産でしか確認できない物資が納入される可能性はあるのか。

→国内産ということで発注する物資は存在するが、実態としては産地まで確認している。

- ・今後も産地が把握できないものは測定してもらえという理解で良いか。

→良い。

- ・産地が把握できないものは測定に委ねるということではなく、そのような食材は納入されては困ると思うが。

→具体的には加工品の場合が多いが、実態としてはなるべく産地の確認に努めているということもご理解願いたい。

- ・産地という部分のどこまでを確認するかの議論が必要と思う。

→実態としては追える場合は市町村単位までの確認に努めている。

絶対的な明文化までは求めないが、実態としての取り組みのきちんとした継続を要望する。

- ・加工品の産地表示は難しいと理解するが、加工品の産地は心配であるので、給食センターでの対応は。

→情報収集とその結果や傾向に基づく放射能測定により対応していく。

(パンについて)

- ・2頁の穀類に給食の主食であるパンがないが。

→パンは東京都学校給食会の指定工場から納品を受けており、東京都学校給食会での基準を満足している。本基準は給食センターに納入する物資としての基準のためパンについては除外しているということでも理解願いたい。

パンは東京都学校給食会指定工場の納品ということであるが、原料である小麦粉等の放射能の測定を行うなどの対応はできないのか。

→平成23年度においても東京都学校給食会指定工場が使用している小麦粉を給食センターで測定した経過があり、これからも同様な取り組みは継続するつもりである。

**【集約】**

審議の結果、本基準は削除修正を加えたもので確認された。

## 5. 視察について

事務局から、資料に基づき近年の視察場所と視察場所を決定した背景を説明した。

あわせて、事務局から放射能測定に努めているものの飲用牛乳を心配している保護者がいる事実と、26市のうち小平市と国立市だけが低温殺菌牛乳のため、品質についての再認識と放射能対応を含めた安全対策の2点を主眼に東毛酪農業協同組合の視察を提案した。

委員からはパンの製造工場との意見もあったが、審議の結果、事務局の提案のとおり東毛酪農業協同組合の視察で確認された。

## 6. その他

### 【委員から】

- ・ 前回の審議会では給食の1週間分5食のゲルマニウムによる全食検査を要請したが、その後の状況はどうか。

→ 要望として受けているが現時点では実施していない。同一検体を給食センターと外部機関で測定している取り組みや保存という要素もあるので、要望は視野に入れているということでご理解願いたい。

保護者の中には是非実施してほしいという声もあるので再度実施を要請したい。

→ 同一検体を給食センターと外部機関で測定した結果の検証や検出器の違いはあるにしても毎日給食センターで測定しているという事実の中で検討させていただくということでご理解願いたい。

- ・ うどんやめん類の放射能測定を実施してほしい。

→ 必要に応じてでき得る範囲で対応したい。

- ・ 予定産地が当日の納品時に変更になるという実態はどうか。

→ 平成24年度は1度くらいの記憶であり、実態としてはほとんどないという認識でよろしいかと思う。仮に変更が生じる場合には事前に相談があり、その変更された産地を事前に確認するなどして対応している。また、当該食材を使用しないという選択肢もあるのでその状況により判断することとなる。

## 7. 閉会挨拶（藏重会長）

本日の議題は、すべて終了いたしました。

次回は、1月24日（木）で視察となりますので、よろしく願いいたします。

それでは、これにて、第3回給食センター運営審議会を終了いたします。

ありがとうございました。